

湯沢町総合戦略策定に向けての 町民意識調査

19-39 歳調査

2024 年 12 月

目次

[1] 調査概要.....	2
(1) 今回調査と前回調査の概要	2
(2) 集計に関する留意事項	2
[2] 回答者属性	3
[3] 集計結果.....	5
(1) 町政や町の財政への関心等	5
(2) 婚姻状況等	7
(3) 出身地と湯沢町に住むようになったきっかけ	11
(4) 定住意向	13

[1] 調査概要

(1) 今回調査と前回調査の概要

調査の概要を整理すると、以下の表の通りである。

	今回調査	前回調査
調査対象	満 19－39 歳の全町民 (2024 年 3 月末時点)	満 19－39 歳の全町民 (2019 年 4 月 25 日時点)
調査方法	調査依頼文書: 郵送による送付 調査票: オンライン回収	郵送による調査票の配布・回収
調査期間	2024 年 6 月	2019 年 5 月
配布数	1,319 票(1,339 票配布 返戻数 20 票)	1,416 票(1,450 票配布 返戻数 34 票)
回収数	265 票	292 票
回収率	20.1%($0.201=265/1,319$)	20.6%($0.206=292/1,416$)

- ・ 2024 年調査(以下、今回調査)の回収率は 20.1%、回収票数は 265 票で、2019 年調査(以下、前回調査)よりも、回収率が 0.5 ポイント低下し、27 票減少した。
- ・ 今回調査は、調査依頼文書を対象者に送付した上で、すべてオンラインでの回答を求めた。

(2) 集計に関する留意事項

今回調査と前回調査の集計結果の比較について、留意すべき点は、以下の通りである。

- ・ 今回調査はオンライン調査を実施したため、総合戦略の KPI の評価等に活用する設問はできるだけ多くの回答を得る目的から回答必須に設定している。そのため、今回の調査では、回答を強制しないため、「回答しない」という選択肢を設けている。
- ・ 集計結果には、前回調査との比較のため、「回答しない」を除いた集計を示している。
- ・ 各表の「差」は今回調査と前回調査との回答割合の差(ポイント)である。
- ・ 四捨五入のため、表中の値の合計が合計値と一致しない場合がある。

[2] 回答者属性

Q1 性別

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 男性	123	47.5	135	47.5	0.0
2 女性	134	51.7	149	52.5	-0.7
3 その他	2	0.8	-	-	0.8
合計	259	100.0	284	100.0	

- ・ 今回調査では、回答者 259 名の性別は、「男性」の割合は 47.5%、「女性」は 51.7%、「その他」は 0.8%であった。なお、本表では「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回調査では、回答者 284 名の性別は、「男性」の割合は 47.5%、「女性」は 52.5%であった。「その他」の選択肢は設けられていなかった。
- ・ 今回と前回とでは、回答者の性別はほぼ同割合である。

Q2 年齢

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 19-24歳	57	21.9	51	21.1	0.8
2 25-29歳	53	20.4	49	20.2	0.1
3 30-34歳	83	31.9	69	28.5	3.4
4 35-39歳	67	25.8	73	30.2	-4.4
合計	260	100.0	242	100.0	

- ・ 今回調査の回答者の年齢区分は、「19-24 歳」の割合が 21.9%、「25-29 歳」は 20.4%、「30-34 歳」は 31.9%、「35-39 歳」は 25.8%であり、「30-34 歳」の割合が最も高かった。なお、「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回調査の年齢区分は、「19-24 歳」の割合が 21.1%、「25-29 歳」は 20.2%、「30-34 歳」は 28.5%、「35-39 歳」は 30.2%であり、「35-39 歳」の割合が最も高かった。
- ・ 今回は前回と比較して、19-24 歳から 30-34 歳の割合が 4.4 ポイント増加し、35-39 歳が 4.4 ポイント低下した。

Q3 現在の居住地区

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 湯沢地区	105	40.9	110	40.7	0.1
2 神立地区	48	18.7	53	19.6	-1.0
3 土樽地区	84	32.7	89	33.0	-0.3
4 三俣地区	7	2.7	6	2.2	0.5
5 三国地区	13	5.1	12	4.4	0.6
合計	257	100.0	270	100.0	

- ・ 今回の回答者の居住地区は、湯沢地区の割合が 40.9%で最も多く、ついで土樽地区が 32.7%、神立地区が 18.7%、三国地区が 5.1%であり、三俣地区が 2.7%であった。なお、本表では「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回の居住地区は、湯沢地区の割合が 40.7%で最も多く、ついで土樽地区が 33.0%、神

立地区が 19.6%, 三国地区が 4.4%であり, 三俣地区が 2.2%であった.

- ・ 今回と前回とでは, 回答者の居住地区はほぼ同じ分布である.

Q4 通勤・通学先

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 湯沢町	158	69.0	189	76.2	-7.2
2 湯沢町以外	71	31.0	59	23.8	7.2
合計	229	100.0	248	100.0	

- ・ 今回の回答者の通勤・通学先は, 「湯沢町」の割合が 69.0%で最も高く, 「湯沢町以外」は 31.0%である.
- ・ 前回と比較して, 湯沢町が 7.2 ポイント低下して, 湯沢町以外が 7.2 ポイント増加した.
- ・ ただし, 今回の調査では, 本設問に「通勤・通学はしていない」の選択肢が追加されており, 36 名の回答があったが, 本表からは除かれている. したがって, 前回との比較には留意する必要がある.

[3] 集計結果

(1) 町政や町の財政への関心等

Q5 あなたは、湯沢町は住みよい町だと思いますか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 とても住みよい	34	12.8	22	7.6	5.2
2 まあ住みよい	115	43.4	127	43.8	-0.4
3 どちらともいえない	47	17.7	71	24.5	-6.7
4 やや住みにくい	44	16.6	51	17.6	-1.0
5 とても住みにくい	25	9.4	19	6.6	2.9
合計	265	100.0	290	100.0	

- ・ 今回は、43.4%が「まあ住みよい」と回答し、ついで「どちらともいえない」が17.7%であり、「やや住みにくい」が16.6%、「とても住みよい」が12.8%、「とても住みにくい」は9.4%であった。
- ・ 前回と比較して、「どちらともいえない」が最も大きく6.7ポイント減少し、「やや住みにくい」が1.0ポイント、「まあ住みよい」が0.4ポイント減少した一方で、「とても住みよい」が5.2ポイント、「とても住みにくい」が2.9ポイント増加した。
- ・ ポジティブな回答（「とても住みよい」と「まあ住みよい」の合計）は、今回は56.2%、前回は51.4%で、4.8ポイント増加しており、半数以上は湯沢町における住みよさを感じている。

Q6 あなたは、町政・町の財政に関心がありますか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 とても関心がある	37	14.0	28	9.7	4.3
2 ある程度関心がある	117	44.2	130	44.8	-0.7
3 どちらともいえない	53	20.0	49	16.9	3.1
4 あまり関心がない	43	16.2	48	16.6	-0.3
5 まったく関心がない	15	5.7	35	12.1	-6.4
合計	265	100.0	290	100.0	

- ・ 今回は、「ある程度関心がある」が44.2%で最大であり、ついで「どちらともいえない」が20.0%、「あまり関心がない」が16.2%、「とても関心がある」が14.0%、「まったく関心がない」が5.7%であった。
- ・ 前回と比較して、「まったく関心がない」が最も大きく6.4ポイント減少した一方で、「とても関心がある」が4.3ポイント増加し、「どちらともいえない」も3.1ポイント増加した。
- ・ ポジティブな回答（「とても関心がある」と「ある程度関心がある」の合計）は、今回は58.2%、前回は54.5%で、3.7ポイント増加し、他方でネガティブな回答（「まったく関心がない」と「あまり関心がない」の合計）は6.7ポイント減少していることから、町政や財政への関心の高まりという好ましい変化が確認できる。

Q7 湯沢町では、子どもの医療費無料化や給食費無償化、婚活支援などの施策を行っています。あなたは、湯沢町が結婚、妊娠、子ども、子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思いますか。

		今回調査		前回調査		差
		回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1	とても思う	33	12.5	-	-	-
2	ある程度思う	132	49.8	-	-	-
3	どちらともいえない	56	21.1	-	-	-
4	あまり思わない	29	10.9	-	-	-
5	まったく思わない	15	5.7	-	-	-
合計		265	100.0	-	-	-

- ・ 本設問は、今回調査で新たに追加されたものである。
- ・ 回答者 265 名のうち、「ある程度思う」が 49.8%で最大であり、ついで「どちらともいえない」が 21.1%、「とても思う」が 12.5%、「あまり思わない」が 10.9%、「まったく思わない」が 5.7%であった。
- ・ ポジティブな回答（「とても思う」と「ある程度思う」の合計）は 62.3%であり、結婚・出産・子育てに関わる同世代の 60%以上が結婚・出産・子育てに関する町の支援策を好意的に評価している。

Q8 あなたは、日常会話程度の英語を話すことができますか。

		今回調査		前回調査		差
		回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1	話すことができる	35	13.3	-	-	-
2	まあまあ話すことができる	46	17.5	-	-	-
3	あまり話すことができない	103	39.2	-	-	-
4	まったく話すことができない	79	30.0	-	-	-
合計		263	100.0	-	-	-

- ・ 本設問は、今回調査で新たに追加されたものである。
- ・ 回答者 263 名のうち、「あまり話すことができない」が 39.2%で最大であり、ついで「まったく話すことができない」が 30.0%で、この範囲に 69.2%が集中した。さらに、「まあまあ話すことができる」が 17.5%、「話すことができる」は 13.3%であった。

(2) 婚姻状況等

①配偶者(届け出の有無に関係なく婚姻関係にある相手)の有無

Q9 配偶者(届け出の有無に関係なく婚姻関係にある相手)はいらっしゃいますか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 いる	102	40.2	131	45.2	-5.0
2 いない	152	59.8	159	54.8	5.0
合計	254	100.0	290	100.0	

- ・ 今回調査では、「配偶者がいる」が 40.2%、「配偶者がいない」が 59.8%であった。なお、本表では「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回調査と比較して、「配偶者がいる」が 45.2%から 40.2%に 5 ポイント低下し、「配偶者がいない」が増加した。

②有配偶者の希望子ども数

Q10 お子さんはいらっしゃいますか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 いる	82	82.0	99	75.6	6.4
2 いない	18	18.0	32	24.4	-6.4
合計	100	100.0	131	100.0	

- ・ 今回は、配偶者がいると回答者のうち、「子どもがいる」と回答した割合は 82.0%、「いない」は 18.0%であった。なお、本表では「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回調査と比較して、「子どもがいる」が 75.6%から 82.0%に 6.4 ポイント上昇し、「子どもがいない」が増加した。

Q11 将来的に予定している子どもの数は何人ですか。(現在、お子さんがいらっしゃる場合は、そのお子さんも含めた人数)

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 0人	3	3.2	13	11.7	-8.5
2 1人	13	14.0	7	6.3	7.7
3 2人	54	58.1	58	52.3	5.8
4 3人	22	23.7	28	25.2	-1.6
5 4人	1	1.1	5	4.5	-3.4
6 5人以上	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	93	100.0	111	100.0	

- ・ 今回調査では、配偶者がいると回答者のうち、「将来予定している子ども数」は「2人」が58.1%で過半数を超えて最大であり、ついで「3人」が23.7%、「1人」が14.0%、「0人」が3.2%、「4人」が1.1%であった。なお、「5人以上」の回答はなかった。なお、本表では「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回調査と比較して、「0人」が8.5ポイント減少し、3人以上（「3人」と「4人」）5.0ポイント減少した。一方で、「1人」が7.7ポイント、「2人」が5.8ポイント上昇した。

③ 未婚者の結婚希望と希望子ども数

Q12 今後、結婚したいと思いますか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 思う	88	72.1	95	62.5	9.6
2 思わない	34	27.9	57	37.5	-9.6
合計	122	100.0	152	100.0	

- ・ 今回調査は、配偶者がいない回答者のうち、「今後、結婚したいと思う」と回答した割合は72.1%、「したいと思わない」は27.9%であった。なお、本表では「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回調査と比較して、「結婚したいと思う」が62.5%から72.1%に9.6ポイント上昇し、「結婚したいと思わない」が減少した。

Q13 理想的には、何年以内に結婚したいとお考えですか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 1年以内	7	8.4	12	13.2	-4.8
2 2-3年以内	33	39.8	29	31.9	7.9
3 4-5年以内	27	32.5	29	31.9	0.7
4 6-10年以内	14	16.9	19	20.9	-4.0
5 11-20年以内	2	2.4	2	2.2	0.2
合計	83	100.0	91	100.0	

- ・ 今回調査では、結婚したいと回答した回答者の理想の結婚時期は「2-3年以内」が39.8%で最大であり、ついで「4-5年以内」が32.5%、「6-10年以内」が16.9%、「1年以内」が8.4%、「11-20年以内」が2.4%であった。なお、本表では前回調査と比較するために、「その他¹」は除かれている。
- ・ 前回調査と比較して、「1年以内」と「6-10年以内」がそれぞれ4.8ポイントと4.0ポイント低下した一方で、「2-3年以内」が7.9ポイント上昇した。前回は「2-3年以内」と「4-5年以内」が

¹ 「その他」の回答数は5で、具体的な年数を決められないといった回答が見られた。

31.9%で最頻値であったが、今回は「2-3 年以内」が 39.8%で最頻値となった。

Q14 実際には、何年以内に結婚するだろうとお考えですか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 1年以内	2	2.7	8	11.0	-8.3
2 2-3年以内	16	21.6	18	24.7	-3.0
3 4-5年以内	31	41.9	17	23.3	18.6
4 6-10年以内	21	28.4	27	37.0	-8.6
5 11-20年以内	4	5.4	3	4.1	1.3
合計	74	100.0	73	100.0	

- ・ 今回調査では、結婚したいと回答した回答者が、実際に結婚すると考える時期は「4-5 年以内」が 41.9%で最大であり、ついで「6-10 年以内」が 28.4%、「2-3 年以内」が 21.6%、「11-20 年以内」が 5.4%、「1 年以内」が 2.7%であった。なお、本表では「その他²⁾」は除かれている。
- ・ 前回調査と比較して、「1年以内」と「6-10 年以内」がそれぞれ 8.3 ポイントと 8.6 ポイント低下した一方で、「4-5 年以内」が 18.6 ポイント上昇した。その結果、前回は「6-10 年以内」が 37.0%で最頻値であったが、今回は「4-5 年以内」が 41.9%で最頻値となった。

Q15 今後、子どもを持つとすれば、理想の子どもの数は何人ですか。(現在、お子さんがいらっしゃる場合は、そのお子さんも含めた人数)

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 0人	2	2.4	0	0.0	2.4
2 1人	11	13.1	4	4.6	8.5
3 2人	58	69.0	50	57.5	11.6
4 3人	10	11.9	32	36.8	-24.9
5 4人	1	1.2	1	1.1	0.0
6 5人以上	2	2.4	0	0.0	2.4
合計	84	100.0	87	100.0	

- ・ 今回調査では、「結婚したい」と回答した回答者のうち、将来子どもを持つとした場合の理想の子ども数は「2 人」が 69.0%で最大であり、ついで「1 人」が 13.1%、「3 人」が 11.9%、「0 人」と「5 人以上」が共に 2.4%、「4 人」は 1.2%であった。なお、本表では「回答しない」は除かれている。
- ・ 前回調査と比較して、「3 人」が 24.9 ポイント減少した一方で、「2 人」が 11.6 ポイント、「1 人」が 8.5 ポイント上昇した。

²⁾ 「その他」の回答数は 14 で、「できない」や「できそうにない」などの回答が見られた。

Q16 あなたが、現在独身でいる理由または結婚したいと思わない理由は何ですか。(複数選択可)

	今回調査			前回調査			回答数割合差
	回答数	回答数割合(%)	回答者割合(%)	回答数	回答数割合(%)	回答者割合(%)	
1 結婚するにはまだ若すぎる	28	8.9	23.1	16	5.1	11.0	3.8
2 結婚する必要を感じない	34	10.8	28.1	39	12.5	26.9	-1.7
3 今は仕事や学業に打ち込みたい	27	8.6	22.3	28	9.0	19.3	-0.4
4 今は趣味や娯楽を楽しみたい	34	10.8	28.1	38	12.2	26.2	-1.4
5 独身の自由さや気楽さを失いたくない	41	13.1	33.9	40	12.9	27.6	0.2
6 異性とうまく付き合えない	25	8.0	20.7	23	7.4	15.9	0.6
7 適当な相手に巡りあえない	56	17.8	46.3	57	18.3	39.3	-0.5
8 結婚資金が足りない	31	9.9	25.6	21	6.8	14.5	3.1
9 結婚後の生活資金が足りない	32	10.2	26.4	26	8.4	17.9	1.8
10 すでに結婚が決まっている	2	0.6	1.7	5	1.6	3.4	-1.0
11 その他	4	1.3	3.3	18	5.8	12.4	-4.5
回答数計	314	100.0	259.5	311	100.0	214.5	
回答者計	121		100.0	145		100.0	

注:1.前回は回答を三つまでに制限

2.「回答数割合差」は、今回と前回の回答数割合の差.

- ・ 今回調査では、独身でいる理由や結婚しない理由を 121 名が回答し、一回答者当たり平均 2.60 個の理由が選択された。前回調査では、回答が三つまでに制限されていたため、145 名の回答者によって、一回答者当たり平均 2.14 個の理由が選択された。したがって、回答数割合の差を見ると、今回と前回には回答の分布には大きな差が確認されないが、前回との単純な比較には留意が必要である。
- ・ 今回調査では、回答者の 46.3%(121 名のうち 56 名)が「適当な相手に巡りあえない」を選択しており、ついで、「独身の自由さや気楽さを失いたくない」は 33.9%の回答者(121 名のうち 41 名)、「結婚する必要を感じない」と「今は趣味や娯楽を楽しみたい」は共に 28.1%の回答者(121 名のうち 34 名)が選択した。さらに、「結婚するにはまだ若すぎる」、「今は仕事や学業に打ち込みたい」、「異性とうまく付き合えない」、「結婚資金が足りない」、「結婚後の生活資金が足りない」はいずれも回答者の 20%台が選択した。

(3) 出身地と湯沢町に住むようになったきっかけ

① 出身地

Q17 あなたの出身地はどこですか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 湯沢町	128	48.5	177	65.6	-17.1
2 新潟県内(湯沢町以外)	60	22.7	56	20.7	2.0
3 新潟県外	49	18.6	33	12.2	6.3
4 国外	27	10.2	4	1.5	8.7
合計	264	100.0	270	100.0	

- ・ 今回調査では、回答者の出身地は、48.5%が「湯沢町」であり、ついで「(湯沢町以外の)新潟県内」が22.7%であった。「新潟県外」は18.6%、「国外」は10.2%であった。
- ・ 前回調査と比較して、「湯沢町」が17.1ポイント減少し、町外出身者の割合が増加し、「国外」が顕著に増加した。

② 湯沢町出身者

Q18 町外に住んでいたことがありますか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 ある	87	69.6	121	69.1	0.5
2 ない	38	30.4	54	30.9	-0.5
合計	125	100.0	175	100.0	

- ・ 今回の調査では、湯沢町出身者で、町外での居住経験が「ある」と回答した割合が69.6%、「ない」は30.4%であり、70%程度が町外での生活を経験している。
- ・ 前回調査も同様であり、ほとんど差が見られない。

Q19 あなたが湯沢町に戻ることになったきっかけは何ですか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 職業(仕事)	35	41.7	50	43.1	-1.4
2 戸籍(結婚・離死別等)	8	9.5	15	12.9	-3.4
3 住宅(住まい)	14	16.7	5	4.3	12.4
4 学業	2	2.4	4	3.4	-1.1
5 家族	18	21.4	29	25.0	-3.6
6 その他	7	8.3	13	11.2	-2.9
合計	84	100.0	116	100.0	

- ・ 今回の調査では、町外での居住経験がある湯沢町出身者が湯沢町に戻った理由は、「職業」が41.7%、「住宅」が16.7%、「家族」が21.4%、「戸籍」が9.5%、「学業」が2.4%、「その他」が8.3%である。
- ・ 前回調査と比較すると、「住宅」が12.4ポイント増加して16.7%となり、それ以外の理由が減少した。

③町外出身者

Q20 あなたが湯沢町に住むことになったきっかけは何ですか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 職業(仕事)	72	54.1	55	48.7	5.5
2 戸籍(結婚・離死別等)	25	18.8	29	25.7	-6.9
3 住宅(住まい)	13	9.8	7	6.2	3.6
4 学業	1	0.8	0	0.0	0.8
5 家族	19	14.3	13	11.5	2.8
6 その他	3	2.3	9	8.0	-5.7
合計	133	100.0	113	100.0	

- ・ 今回の調査では、町外出身者が湯沢町に住むことになった理由は、「職業」が 54.1%、「戸籍」が 18.8%、「家族」が 14.3%、「住宅」が 9.8%、「学業」が 0.8%、「その他」が 2.3%である。
- ・ 前回調査と比較すると、「職業」が 5.5 ポイント増加して、54.1%となった一方で、「戸籍」が 6.9 ポイント低下して 18.8%となった。

(4) 定住意向

① 定住意向

Q21 あなたは、今後も湯沢町に住み続けたいと思いますか。

	今回調査		前回調査		差
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
1 湯沢町に住み続けたい	152	57.4	105	53.3	4.1
2 新潟県内の別の市町村に移りたい	38	14.3	25	12.7	1.6
3 新潟県外に移りたい	68	25.7	47	23.9	1.8
4 国外に移りたい・その他	7	2.6	20	10.2	-7.5
合計	265	100.0	197	100.0	

- ・ 今回の調査では、今後も「湯沢町に住み続けたい」が 57.4% で最大であり、「新潟県外に移りたい」が 25.7% , 「新潟県内の別の市町村に移りたい」が 14.3% , 「国外に移りたい」が 2.6% である。
- ・ 前回調査と比較すると、「湯沢町に住み続けたい」が 4.1 ポイント増加した³。

② 町外に移りたい人

Q22 あなたが町外に移りたい理由は何ですか。(複数選択可)

	今回調査			前回調査			差
	回答数	回答数割合(%)	回答者割合(%)	回答数	回答数割合(%)	回答者割合(%)	
1 寒いから・雪が多いから	53	12.2	48.2	—	—	—	—
2 町内の移動が不便だから(バスや電車が少ない)	37	8.5	33.6	—	—	—	—
3 買い物が不便だから	77	17.7	70.0	—	—	—	—
4 就きたい職業が町内にないから	38	8.7	34.5	—	—	—	—
5 娯楽施設が少ないから	62	14.2	56.4	—	—	—	—
6 友人や異性等との出会いの場が少ないから	34	7.8	30.9	—	—	—	—
7 医療機関が少ないから	40	9.2	36.4	—	—	—	—
8 体育施設、ホール、公園等の公共施設が少ないから	23	5.3	20.9	—	—	—	—
9 住環境に満足していないから	36	8.3	32.7	—	—	—	—
10 子どもの保育・教育環境に満足していないから	21	4.8	19.1	—	—	—	—
11 その他	15	3.4	13.6	—	—	—	—
回答数計	436	100.0	396.4	—	—	—	—
回答者計	110		100.0	—	—	—	—

- ・ 本設問は、今回調査で新たに追加されたものである。
- ・ 「湯沢町に住み続けたい」以外を選択した 113 名のうち、110 名が回答し、一回答者当たり平均 3.96 個の理由が選択された。
- ・ 回答者の 70.0%(110 名のうち 77 名)が「買い物が不便だから」を選択しており、ついで、「娯楽施設が少ないから」は 56.4%の回答者(110 名のうち 62 名)、「寒いから・雪が多いから」は 48.2%の回答者(110 名のうち 53 名)、「医療機関が少ないから」は 36.4%の回答者(110 名のうち 40 名)が選択した。

³ なお、前回調査では「国外に移りたい」という選択肢を設けていなかった。今回「国外に移りたい」と回答した者は、国外出身者はわずかではほとんどが湯沢町出身者である。